

ネクスト通信

Vol. 7 4

発行日

令和4年9月9日

発行責任者

前田 潤悦

編集者

小助川 輝

河田 絢

多田 若葉

8月のコロナ感染状況について

「コロナ」の文字にまたか、と思われる方もおられるかと思いますが、7月の終わりから全国で急激に増えた感染者の数は、やや減少傾向にあるとはいっても、まだ安心できる状況とは言えないところです。

8月の法人からのお知らせにもありましたが、入所施設ではクラスター発生となり、ご利用者様、支援に入った職員が感染しました。ご利用者さんの中には、入院が必要かと思われた方もおり、また、職員には療養期間が終わっても咳などの症状が続いたり、体調不良が続いている方もおられます。

通所事業所におきましても、8月上旬には事業所を休所し、皆様にご迷惑をおかけしたところでした。

実際に感染した方の中には、38度を超える発熱や喉の痛み、咳、鼻水、体の痛み、倦怠感などの症状がみられる方から、37度前後の発熱程度の方、無症状というケースもあり、現在も体調不良の確認があることに気をもむ日々が続いております。

職員には、喉の痛みや咳などのちょっとした違和感があったときには報告し、医療へ

の相談を行うようになり、早期発見と感染予防に努めているところです。

通所事業所をご利用の皆様には、これまで同様毎日の健康観察と症状があった場合のご連絡をお願いいたします。また、同居のご家族の方の体調不良等に関しまして、ご連絡いただき、感染予防へのご協力をお願い申し上げます。
(前田)

シェイクアウト訓練

9月1日、避難訓練の一環として成田市が実施しているシェイクアウト訓練に、ネクスト名木小も参加し全体で地震を想定した避難訓練を行いました。

シェイクアウト訓練とは、アメリカで始まった地震防災訓練で、指定された日時に身を守るための安全行動を約1分間行うというものです。大きな地震の揺れを感じた時、まず行うのは自分の身を守るための「自助」と、自身の安全を確保したうえで、はじめて「共助」を行うことが可能となるため「自助」の意識を高めるための訓練を行うというものです。

10時30分、成

田市全域に、防災無線情報が放送、配信されました。メールや地域のスピーカから、「訓練、訓練。ただいま地震が発生しました。安全な場所を探しましょう。丈夫な物のそばで姿勢を低くして、頭や体を守りましょう。揺れが収まるまでじっとしててください。」と合図を受け、作業の手をとめ、身を低く



まず低く

DROP!



頭を守り

COVER!



動かない

HOLD ON!

して机の下にもぐります。頭を守った状態で約1分間動かず身を守りました。普段は、避難の合図で指定の場所へ向かっていきますが、今回のシェイクアウト訓練では、避難する前に1つの行動が増えたことで、上手い机の下などに潜ることが難しい利用者さんも居ましたが、職員が見本となり、それを真似する事で、自分自身を守るという意識を高める行動をとるようになりました。

1分後、次は避難です。避難については普段から行っているため、皆さんともスムーズに体育館の外へ移動することができました。職員も緊張感をもって取り組むことで、災害の際にもしっかりと実践できるように毎回努めています。

訓練を重ねる事で、急な予定変更が苦手な方に対しても、いつでもすぐに対応できるように、良い慣れを続けていきたいと思

ます。防災の日のみならず、これからもしっかり続けていきたいと思



備蓄用品の点検

ネクスト名木小には、菜の花会の防災備蓄倉庫があります。9月1日には、その倉庫内の備蓄用品の点検を行いました。

点検では、備蓄品の数や、機械類の稼働の確認、非常時にすぐに運び出せるように名札の張替えも行いました。

いつ起こるか分からない災害にしっかりと備え、利用者さんの災害時支援を万全に備えていきます。
(防災委員 伊藤)



夏の思い出作り

8月31日、気が付けば8月も最終日。今年の夏は、新型コロナウイルスの感染者数が全国的に増加し、例年よりも更に対策を強いられる夏となりました。そんな中でも利用者さんに楽しんで頂きたいとの思いから、事業所内で急遽ボウリング大会を開催することとなりました。



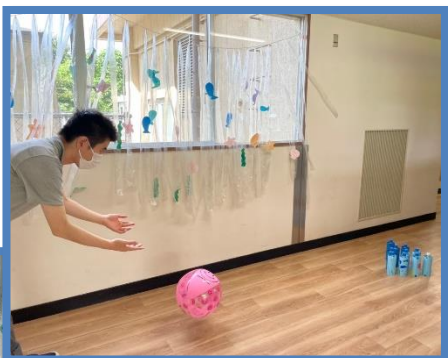
ボウリング大会を開催するにあたって皆さんにピンを作ってもらいました。ペットボトルに画用紙を貼って工作を行いました。8月に行きたい場所と言えば海。夏の海をイメージしながら、各々好きなイラストを描いてピンの制作を行ってくれました。魚や波をイメージした模様などを描いて素敵な海を演出してくれています。

利用者さんの「ボウリング場みたいな床だね。」との一言から、会場を体育館から校舎内へ変更し、元小学校ならではの長い廊下を活用し、即席ボウリング場としました。各作業科毎に利用者さんが集まり、順番にボールを投げて楽しい時間を過ごして

ています。手仕事科の遠藤拓巳さんは本物のボウリング場さながら、板の目を見て綺麗な投球フォームでピンを倒します。ストライク狙っての真剣な眼差しや姿がとても印象的でした。

まだまだ制限のある生活は続きますが、日常を少しでも楽しく充実したものに出来るようにしていきたいと思います。今回、ボウリング大会を行って皆さんが楽しんで参加出来たこと、思い出作りが出来て良かったです。終わった後、施設長に「体育館でやって」と言われたことは言うまでもありません。

(小助川)



良いとこ見つけた

昼食後の食器洗い。手仕事科の寺本智弥さんが手伝ってくださっています。コップやお椀など洗いやすそうなものからお願

いし、洗い方など少しずつ教えていきました。2日目からはもう完璧に習得しており、驚きつつもさすがだなと感じました。その後も多少、職員がサポートしながらも黙々と洗っていきます。この日からは、お弁当箱洗いも行っています。角が沢山あり洗うのが少し難しいですが、汚れが落としづらく残ってしまっているのを見つけたら、自らもう一度洗って綺麗にしてくれるなど丁寧な仕事を見せてくれます。次の日からも決まった時間になると自ら進んで洗い物に取り組んで下さる頼もしい姿が見られました。

(多田)



エイサー練習

さわやか芸能発表会に向けて、作業の合間や気分転換として踊りの練習を行っています。休憩時間などにCDを流して音楽に慣れながら、今では音楽が始まると自然と体が動きだす利用者さんも居られます。12月の発表会が開催される事を願いながら、本番に向けて準備を進めています。

(河田)

9月の予定

19日(月) 開所日 育成会例会中止
20日(火) パン販売(常福寺)
23日(金) 開所日
10月の予定
1日(土) 開所日 運動会
7日(金) 古紙回収
10日(月) 開所日
14日(金) 古紙回収
22日(土) 開所日
※10月の開所日が変更となります
30日↓休所 22日↓開所

編集後記

早いもので9月に入りました。まだまだ暑い日は続いています。朝夕は肌寒かったり、空には秋の雲が広がっていたり、少しずつ秋を感じられるようになってきています。秋という思い浮かぶものが多くありますね。そのひとつ、中秋の名月は今年9月10日です。お団子をお供えし、食べる事で健康と幸せを得る事ができると言われています。また十五夜は別名「芋名月」とも呼ばれているのを「存じでしよつか」。芋類の収穫を祝う為、里芋やさつまいもをお供えするのも良いとされています。もう一つ、ススキもあります。ススキは秋の七草のひとつ。春の七草は七草がゆにして無病息災を祈るものですが、秋の七草は見た目などの美しさを鑑賞して楽しむもののだそうです。今年はどうな十五夜を迎えることが出来るでしょうか。晴れて素敵な満月が見れることを願います。

(多田)